

良き縁を結ぶパワースポット

春日神社『良縁の樹』

樹齢100年以上といわれる杉とケヤキが根で結び合つ。

『良縁の樹』と名付けられた2本の木は、一本の木のようにそびえ立つ。

異なるルーツを持つ人間同士がともに生きる姿のようです。



『良縁の樹』のいわれ

その昔、縁に恵まれない息子を持つ親が、「春日神社の杉とケヤキの樹に触れてみよ」との夢のお告げに従ったところ、気立てのよい娘を嫁に迎えることができたといわれている。



夢に向って頑張るきっかけに

最近パワースポットとして人気の『良縁の樹』がある『春日神社』。ここで生まれ育ち、宮司職を継いだ藤本久実子さんは、「境内の木はどれも同様に神様をお守りする木ですが、商店街の皆さん『良縁の樹』としてPRされて以来、神社に関心を持つてくださる地域の方や、市外から足を運んでくださる方が増え、本当にありがたいことです」といわれます。

『良縁の樹』を訪れた人が願い事などを綴った「思い出ノート」に時々目を通すという藤本さん。「出会いだけでなく、お仕事や学業などさまざまな願いが書かれていました。『良縁の樹』への祈願がそれの目標達成に向けて頑張るきっかけとなれば嬉しいですね」。

藤本さんのご主人で、櫛宣を務める誠さんは県外のご出身。「大野は水が美味しいくて、人があたたかいですね」といわれます。

昨年秋には「縁のあかり」(P.16ご参照)が開催され、人と人の結び付きも深めた『良縁の樹』。訪れたご縁で、あなたにも良縁が巡つてくるかもしれませんね。

1.『春日神社』:室町中期以前の創建であると考えられ、江戸時代には大野藩主松平氏、土井氏に篤く信仰された。祭神は、国土安泰、産業繁栄の神様である天児屋根命、菅原道真公等。春日通り商店街の東に位置し、11月にはイチヨウの黄葉が見事である。2.3.4.訪れた人々の願いなどが綴られた「思い出ノート」。良き伴侶との出会いから世界の人々の幸福を願うものまで、その書き込み内容はバラエティ豊か。ノートは『良縁の樹』横の箱の中に記念スタンプとともに収められており、全て『春日神社』で祈祷を受けた後、大切に保管される。

域の人々が慣れ親しんだ『春日神社』の2本の木。杉とケヤキという別の種が、仲良く寄り添う姿に、改めて不思議な縁のパワーを感じたそうです。

「来られた方に自由に記入していただきたい『思い出ノート』は7冊目になりました。お子さんの良縁を願う親御さんの書き込みが一番多いですが、健康から世界平

和までさまざまなお願いのほか、「子どもを授かりました」というお札などもあり、十人十色です。これからも、お一人おひとりの良き縁を結んでいただけたらと思ってます」と斎藤さん。

良縁パワーをいただく方法は、2本の木に触れるだけ。ノートに気持ちを綴つたら、元気に大野のまちへ繰り出しましよう。

春日通り商店街振興組合
理事長 斎藤隆英さん
※『良縁の樹』についてのお問い合わせは、TEL.0779-66-2992(斎藤理事長 サイト薬局)へ



食べて、使って、良縁パワーアップ!

春日通り商店街のお店では、良縁にちなんだ商品を販売。現在、新商品の企画も進行中。

